評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準（B規準） | Bの状況に達していない場合の手立て例 |  | Aと見取る子どもの姿の具体例 |
| いえの 人の えがおを 見つけよう | 【関心・意欲・態度】  仕事をすることを通して，どんなえがおが増えるのか見通しをもとうとしている。（態度・行動・発言） | ・家族とのふれあう経験が少ない子どもに対しては，休日の様子を思い出させるなどする。 |  | ・「もっとみんなに喜んでもらいたいね。」など，積極的に仕事に取り組もうとしている。 |
| 【思考・表現】  家族と一緒にした仕事や遊び，手伝いなどを思い起こして，絵や文章にすることができる。（発言・態度・カード） | ・家族とのふれあいが少なくて表現しにくい子どもに対しては，話題を選んで優しく声をかけ，友達と話すように促したりする。 |  | ・自分がした仕事の内容だけでなく「『すごいね。』って言ってもらったよ。」など，できた時の家族の様子を表現している。 |
| 【気付き】  いろいろな仕事やふれあいを通して，たくさんの喜び(えがお)があることに気付いている。（発言・カード） | ・家族と自分とのかかわりが見つけにくい子どもには，家の人とも良く相談させる。また，教師から家庭に連絡をとる。 |  | ・「家族のえがおを見るとうれしいな。」など，期待をもって仕事をしたり，ふれあったりすることを通して，喜びがあることに気付いている。 |
| どう したら よろこんで  もらえるかな | 【関心・意欲・態度】  自分でできることをさがし，やってみようと心がけたり，実行したりしている。（カード・発表・発言・実践） | ・どんな小さな仕事でも，その仕事をほめてやり継続的に行えるようにする。 |  | ・時間割をもとに自分で準備ができるようになるなど，自分のことは自分で行い，さらに家族のえがおが増えるようなことをたくさん見つけようとしている。 |
| 【思考・表現】  やってみたい仕事を選んだり，決めたりしている。（発言・カード）  家でしたことを記録している。（カード・実践）  家族とのふれあいを工夫し，家庭で行いたいことを表現することができる。（態度・発言・カード） | ・手伝いの経験が少ない場合は，休日などの様子を思い出させるようにする。 |  | ・やってみたい仕事を選んだり決めたりして，「みんなに喜んでもらいたいな。」など自分の気持ちも絵や文に表している。  ・家族とのふれあいを工夫し，みんながえがおになることを進んで表現しようとしている。 |
| 【気付き】  家庭において自分ができる仕事があることに気付き，家族の気持ちがわかる。（発言・カード）  家の仕事をしたり，自分のことができるようになったりすることが，身近な人がえがおになるきっかけになることに気付いている。（態度・行動・発言・カード） | ・どんな仕事でも，家族がえがおになることを理解できるように個別に支援する。 |  | ・弟の世話をするなど，具体的にどのようなことをすれば，家族のみんながえがおになるかということに気付いている。  ・意欲的に仕事に取り組む自分を見て，自分の成長に気付いている。 |
| うれしかった ことを  つたえよう | 【関心・意欲・態度】  取り組んだ仕事や自分のことができるようになったことを，友達や先生などに伝えようとしている。（態度・行動・発言） | ・説明する場面で説明しようとしない子どもには，様々な方法を紹介する。 |  | ・朝，自分で起きられるようになったことなど，自分でできるようになったことや，さらに家族が喜んでくれたことなどを具体的な例をあげて伝えようとしている。 |
| 【思考・表現】  家で挑戦した仕事をもとに見つけたり，比べたり，たとえたりして，わかりやすい伝え方の工夫をしている。（態度・発言） | ・友達が発表する時，自分と同じところや違うところを見つけるように助言する。 |  | ・「〇〇ちゃんは，そでとそでをあわせていたよ。私は小さくたたむよ。」など，友達の「こつ」や工夫したことと比較しながら聞くことができる。 |
| 【気付き】  取り組んだ仕事や自分のことができるようになったことを，相手に伝わる楽しさがわかっている。（発表・発言・行動・カード） | ・家族との連絡を細かくとり，励ましてもらうようにする。また，学校でも声をかけるようにする。 |  | ・これからも継続的にできる仕事や手伝いをたくさん見つけ，自分から実践できることに気付いている。 |